

評価項目	チェック項目	判断の目安	評価		今回の評価がA+である 特筆すべき点【指】【市】	今回の評価がBである理由 【指】【市】	対前回比でランクアップ 又はランクダウンした 理由【指】【市】
			指定 管理者	市			
1 基本的な考 え方・姿勢	指定管理業務に係る基本的な考え方や 職員の姿勢が、当該施設の設置目的、施 設の特性及び市の求める指定管理者像に 合致しているか。	当該施設の設置目的、施設の特性及び 市の求める指定管理者像が配置職員に共 有されている。 現場責任者及び配置職員の考え方や姿 勢が、本市の意図するものとなっている。	A	A			
	団体等の持つノウハウ等の強みを活か した意欲的な創意工夫等を行う姿勢が見ら れるか。	利用者等のニーズの把握、利用拡大に 向けた取り組み、効率化の推進などに係る 創意工夫への積極的な姿勢が見られる。 当初の提案やその他具体的な目標等が あり、そのための取組を行っていく姿勢が 見られる。					
2 サービス向 上及び利用促進 の取組	サービス向上及び利用促進、地域の活 性化等、発展性のある独創的で魅力的な 取組が行われているか。	指定管理者の独創的で魅力的な取り組 みが、利用者サービスの向上や利用者 増、地域活性化などにつながっている。 自主事業の開催に当たっては、利用者 ニーズを反映させ、事業目的や効果を明 確にし、より多くの利用者に参加してもら えるよう、各種工夫を行っており、また、対象 別に多様な事業を実施している。	A	A			
	適切な利用者への接客・対応、社会的 弱者への配慮や、利用者の公平、公正な 利用が確保されているか。	施設のサービス水準を確保するため、 受付・電話対応・その他接客マナーなど、 標準的な業務実施手順や注意点をマ ニュアル化している。 利用者、特に社会的弱者にとって公平・ 公正に利用できるマニュアル及びシステム を構築・運用している。 職員の意見を取り入れながら、標準的な 業務実施手順等をスタッフミーティング等 において定期的に見直している。 わかりやすい言葉づかいや図、イラスト、 写真等を活用し、誰にでもわかる工夫 をして情報提供している。					
	利用者のニーズ等を収集し、それを反映 する仕組みや、トラブル、苦情処理の適切 な対応と未然防止・再発防止に向けた具 体的な方策がとられているか。	利用者アンケート等からサービスに係る 課題を抽出し、課題への対応策を講じて改 善するなどの工夫が見られる。 苦情処理の適切な対応が可能なマニ ュアルや体制が整備されている。 利用者が苦情や意見を述べやすいよ う、窓口(苦情係、ご意見箱の設置、HPで の受付等)を設置している。 利用者からの苦情や意見等が寄せられ た際には、内容を記録し、対応策を実施し ている。 日々の利用実績を記録し、定期的(週単 位、月単位等)に集計している。 利用実績、稼働率の推移を分析し、これ を踏まえた改善に取り組んでいる。					
	ホームページや広報紙等を活用し、積極 的な情報提供による利便性の向上や利用 者増に向けた取組を行っているか。	誰にでもわかりやすいホームページや 広報紙等となっている。 潜在的な利用者の掘り起こしや利用拡 大に向けたアピールができるホームペー ジや広報紙等となっている。 施設内の掲示板等を有効に活用して、 利用者にわかりやすく情報提供をしてい る。					
3 施設の維持 管理等	施設及び設備の保守点検、備品等の管 理、施設清掃・植栽等の維持管理、計画的 な修繕等、法令等に基づいた適正な業務 計画となっており、実行をしているか。	事業計画書等に沿って、建物・設備・備 品・樹木等が適切に管理されている。 利用者が安全に利用できる状態が保た れている。 施設内及び敷地内の美観が保たれてい る。 市所有の備品と指定管理者所有の備品 が区別されており、備品台帳に記された備 品がすべて揃っている。 トイレ等の衛生状態が保たれている。 日常的、定期的に施設内外の巡回を行 い、事故や犯罪を未然に防止するように努 めている。 鍵の管理方法が明確になっており、適切 に管理している。	A	A			
	廃棄物の処理方法と合わせて、省エネ ルギー対策やごみ減量への取組等、環境 法令を踏まえた環境負荷低減への取組が 行われているか。	廃棄物の処理について、適正な考え 方や取り扱いとなっている。 環境法令を踏まえ、省エネルギー対策 やごみ減量に向けた実効性のある取組 みが行われている。					
	業務の一部を外部委託する場合、業務 の実施や履行確認等、管理指導の体制が 整っているか。	外部への委託について、契約書等の書 類があり、契約内容が確認できる。 外部委託先からの業務報告が書面にて 定期的に行われており、履行確認がで きる。 委託先の現場代理人等に対し、必要に 応じて指導ができる体制にある。					

評価項目	チェック項目	判断の目安	評価		今回の評価がA+である 特筆すべき点【指】【市】	今回の評価がBである理由 【指】【市】	対前回比でランクアップ 又はランクダウンした 理由【指】【市】
			指定 管理者	市			
4 緊急時の対応等	緊急時・災害時の連絡体制、役割分担等が明確となっており、事態を想定した研修・訓練等の取組が行われているか。	事故発生時及び災害時の連絡体制や対応体制がマニュアル等で明確になっている。 事故発生時及び災害時のマニュアル等に基づき、防災訓練等を実施している。また、事故対応及び災害対応に係る研修や事例研究等を実施している。 発生した事故又は災害等の内容及び対応等について記録を作成している。					
	安全管理、衛生管理、危機管理等の徹底に向けたマニュアルの整備、全職員の対応力の平準化や意識啓発に向けた取組が行われているか。	事故防止のチェックリストや事故対応マニュアル等を整備し、職員に周知徹底がされている。また、事故防止策の研修や事例研究等を実施している。 当該施設の管理に係る法令・基準等を職員が把握している。 管理瑕疵・過失に起因する事故は発生していない。 金銭取り扱いのマニュアル等を作成し、職員間で情報の共有化を図り、事故防止に努めている。	A	A			
5 職員配置等	実施業務に即した職員配置等(人数、専門職、勤務体制、責任体制)であり、法令等に基づく雇用・労働条件等を管理監督する体制を有しているか。	事業計画書・水準に沿った職員体制であり、管理職は、他の職員の業務状況を適切に把握している。 報告書等で職員配置等を確認することができる。					
	従事職員の資質向上や人材育成に係る取組は、効果的かつ適正なものであるか。	常勤・非常勤職員に関わらず、職員の研修計画を作成し、内部研修を実施しており、外部研修や勉強会に参加できる環境を整えている。また、必要に応じて、職員の専門技術を高めるため、事例検討会、勉強会や意見交換会等を開催している。	A	A			
6 その他	市、関係機関、地域団体等との有効な連携・協力体制を確保しているか。	協定書に定められた協議事項について、適切に協議が行なわれるなど、責任者間での十分な連絡が行われている。 地域住民、町内会、自治会等の地域の団体、関係機関などの関係団体との連携を図るため、情報交換を行っている。 地域住民の意見・要望を把握している。 人的資源や場所の提供を通じ、各種地域活動へ参加している。 【共同事業体が対象】 共同事業体団体間の連絡体制が確立され、連絡方法の手順及び頻度が具体的に示されている。					
	管理運営にあたり、関係法令等の遵守、情報公開及び個人情報保護に対する適切な運用方針が示されており、実行されているか。	各種規程及び体制が整備されている。 制度を理解し、法令を遵守している。また、法令遵守に対する職員の意識啓発に向けた取り組みを行っている。 個人情報の取扱いに関するルールやマニュアル等が整備され、責任者が特定されている。 個人情報を収集する際は必要な範囲内で適切な手段で収集し、目的以外に使用していない。 情報公開に関するルールやマニュアル等が整備され、責任者が特定されている。	A	A			
経費の節減等(共通項目)	1 適正な経理事務等	当該年度の経費の積算や執行に係る考え方が具体的に示され、適正な経理処理が見込めるか。	収支計画の積算根拠が明確である。 当該施設の指定管理料に係る会計処理と他の事業(自主事業等)の会計処理が分けられている。 経理を担当する職員を配置している。				
	当該期間の収支は、事業計画等に基づく積算の根拠が明確に示され、無理や漏れ等のない確実なものであるか。	事業計画と収支計画の関係が明確である。 指定管理業務用の通帳や印鑑などが適切に管理されている。 収支決算書に記載されている費目に関し、伝票等が存在する。 適切な経理書類が作成されている。 内部もしくは外部による監査体制がとられている。 決算の収支が極端な赤字でない。	B	B		[指] 令和4年度は利用者の減少(コロナの影響もあり)とスタッフの過度な配置により収入と支出のバランスを大きく崩して赤字の決算になってしまった。 [市] 上記のとおり。利用者の減少はコロナの影響もあり、やむを得ない部分であるが、その点を踏まえた上で、状況に応じた適切な人員配置などの工夫をしていただきたい。	
2 コスト縮減等	民間のノウハウが発揮され、創意工夫による効率的な管理運営の取組や、コスト縮減に向けた取組が行われ、高い実効性が認められるか。	民間ノウハウを活かした経費節減及び効率化への取組を実施しており、成果をあげている。 利用者の増加に向けた創意工夫等の取組が見られる。 【利用料金制の場合】 利用料金収入の目標値を明確にし、目標に向けた取組を実施している。	A	A			

評価項目	チェック項目	判断の目安	評価		今回の評価がA+である 特筆すべき点【指】【市】	今回の評価がBである理由 【指】【市】	対前回比でランクアップ 又はランクダウンした 理由【指】【市】
			指定 管理者	市			
個別項目	相談、助言等の実施について	利用者及びその家族からの健康相談や生活相談等に対して具体的なかつ適切な助言を実施しているか。	・具体的な助言を行っている。 ・利用者だけでなく、その家族やその他市民等からの問い合わせにも適切に答えている。	A	A		
	介護保険法及び障害者支援法等に規定するサービス	介護保険法及び障害者総合支援法等に則ったサービスの展開及び充実が行われているか。	利用者にとって、有効かつ具体的でわかりやすい事業を実施している。(居宅介護、生活介護等) 職員が新しい知識を会得するなど、努力している。 KYT(危険予知トレーニング)や安全マニュアルの整備により、安全面に配慮している。 両制度を効率良く生かしたサービス展開が行われている。	A +	A +	【指】生活介護は、最重度の区分6の利用割合が83%と多く、酸素吸入や胃ろう等の医療的ケアが必要な方も受け入れている。医療や介護が大変な方のセーフティネットの役割を果たしている。障害者総合支援法から介護保険法へ移行ケースは、同一事業所のため継続支援ができる。栗原ホーム内にある包括や後見センター、あんしんセンター、医療連携等との連携を通じた支援体制もできている。  【市】重度の障がい者を受け入れることは、民間施設では困難である中で、本施設で多くの利用者を受け入れていることは、本施設の存在価値を高めることであり、評価できる。	【指】【市】左記のとおり。
	レクリエーション等の実施について	レクリエーションや創作活動について具体的な事業を実施しているか。	・レクリエーションや創作活動について具体的な事業を実施している。 ・KYT(危険予知トレーニング)や安全マニュアルの整備により、安全面に配慮している。	A +	A +	【指】コロナ禍ではあるが、通常の成人式に参加しづらい利用者(1名)に独自の「二十歳の集い」を行った。企画段階から平塚看護大学の生徒が参加し、当日は歌とダンスの披露があった。また、隣接するしらゆり保育園の園児さんのお遊戯の披露もあった。ご両親や養護学校時代の先生等、本人がこれまでお世話になった方たちが参加され、一緒にお祝いする場となった。「地域共生社会の実現」に向け、様々なレクリエーション等を多くの方々の協力を得て行っている。  【市】コロナ禍という制約のある中で、工夫して様々なレクリエーションを実施し、利用者を楽しんでもらいながら、社会とのつながりを保った点を評価する。	
	利用者へのサービス提供の実施について	利用者への送迎や食事、入浴等のサービス提供について十分に配慮して実施しているか。	・利用者への送迎や食事、入浴等のサービス提供について十分に配慮して実施している。 ・KYT(危険予知トレーニング)や安全マニュアルの整備により、安全面に配慮している。	A +	A +	【指】医療的なケアが必要な利用者の割合が増加する中、これまで遠慮されがちであった医療的ケアをしながらの入浴を看護師が対応することによって利用者・家族から依頼されるようになった。  【市】対応が難しいサービスでも、これまで培ってきたノウハウを活かし、利用者・家族が期待するサービスを提供できている点を評価する。	
	自主事業の実施について	自主事業・行事に対する方針・計画が具体的に優れているか。	・利用者、利用者の家族、地域住民が参加できる行事を行っている。 ・利用者が目標を持って継続的に進める事業計画を立てている。	A	A		
コメント	・アピールしたいポイント ・課題または今後の改善点など	<p>令和4年度後期は、前期に引き続き新型コロナウイルスの影響により、利用者の出席が減少し、それに伴う報酬が予算を大きく下回ってしまった。一方で障がいのある方や高齢者にとって、必要不可欠なサービスを行っている事業所としては、前期に引き続き、国や県の方針に従い、市と連携してなるべく普段通りサービスを実施することに力を注ぎました。利用者を受け入れる際に、換気・検温・手洗い・ゾーニング等を徹底しました。さらに外部の方との接触、利用者同士の接触を減らすため、前年度に引き続き、昼食時や午後の部屋を分けたり、入口からの導線を分けるなど工夫をし、最善の注意を払いました。利用者の受入れ時間の短縮に伴う送迎時間の振り分け、家族送迎など、ご家族の理解と協力を得た上での対応も引き続き実施しました。</p> <p>また、コロナ以前からご協力いただいていた話し相手やお茶出し、ドライヤー掛けなどのご協力いただいていたボランティアさん達が少しずつ戻り多大なご協力をいただいています。そのような中、「生活介護事業」の主な行事のいくつかは規模は縮小したものの要所で実施をすることができました。</p> <p>10月には参加した利用者全員でお花けなどの衣装をしハロウィンイベントを実施しました。12月にはクリスマス会を実施し、利用者もサンタやトナカイになりきり、プレゼントのお菓子をもらって喜んでいました。1月には20歳を迎えた利用者のお祝いとして栗原ホーム3階の会場にご両親やお世話になった先生などをお迎えし、独自の二十歳の集いを行いました。当日は近隣のしらゆり保育園の園児さんにもきていただき、歌や踊りなどの演技を披露していただきました。また平塚看護大学の皆さんに歌と踊りを見せていただき、とても素敵な二十歳の思い出ができ、みんなで楽しい時間を過ごしました。2月には、節分でみんなで豆まきを行いました。鬼のお面をかぶって現れた男性利用者の迫力、思わず泣いてしまう利用者もいて、栗原ホームの豆まきは大盛り上がりでした。また、同じく2月に1階食堂をイチゴ畑に見立ていちご狩りを行い、みんなでおいしくいただきました。</p> <p>行事の様子はマロンだより第7号、や10月に開設したホームページに掲載しました。(3月発行)</p> <p>施設管理の面では、前年度から社会福祉協議会単独での管理となり、役割分担の見直しを図り、大きなトラブルもなく保守点検業務等を計画どおり遂行しています。</p> <p>30年経過している建物ゆえの小さな故障・不具合は発見されていますが、少しでも利用者にとって利用しやすく安全な施設となるよう、優先順位なども見定め、計画的・効果的に施設の管理が実施できるよう、市の担当課と協議しながら進めております。</p>					
	総括	<p>・施設管理及び運営について、適切に行っている。 ・コロナ禍においても障がいサービス利用者に対し、工夫した季節感のある事業を行っている。 ・利用者実績が伸び悩んでいるため、新規利用者獲得と現利用者の利用日数増に向けて検討を進める必要がある。 ・他施設における設備故障により臨時休館となった事態を踏まえ、設備点検については、細心の注意を払って行い、異常を発見した場合は、速やかに市へ報告の上、協力して解決に取り組んでいただきたい。</p>					

評価について

A +	継続的に適切・良好であり、高く評価できる部分がある。
A	継続的に適切・良好である。
B	一部に適切・良好でない部分があったが、改善済み又は見込みである。
	水準に未達の場合

判断の目安に対する指標

良	水準を満たしている。
可	支障があった。迅速に改善し、対応に問題はなかった。
不可	重大な支障があった。
	支障があった。改善されていない。 支障があった。改善への対応が著しく遅滞または不十分で、不適切であった。